

『親子で学ぶ農林水産業見学体験ツアーin南相馬・浪江』を開催しました！

令和6年7月20日（土）に、小学生とその保護者を対象とした日帰りバスツアーを開催し、18組40名に参加いただきました。本ツアーは、生産者の皆さんとの交流や収穫体験などを通じ、相双地域の農林水産物に対する安心を深めてもらうとともに、農林水産業の再開状況などについて、参加された親子に理解してもらうことを目的に実施しているものです。

南相馬市にある菊地洋一氏のピーマンほ場では、ピーマン栽培の取組について説明を受けた後、ピーマンの収穫体験を行いました。参加者は大きなピーマンを見定めながら楽しそうに収穫していました。

小高園芸団地では、集出荷調製施設としての役割について説明を受けた後、きゅうりの収穫体験を行い、きゅうりの選果の様子を見学しました。参加者はきゅうりの選果機にAIが使われていると聞くと選果されたきゅうりを興味深そうに眺めていました。

ブルーベリーパークびぼばでは、震災による津波被害の復旧からブルーベリー栽培を開始した経緯について説明を受けた後、ブルーベリーの収穫体験を行いました。参加者はブルーベリーを美味しく食べながら好みのブルーベリーをパックに詰めていました。

(株)相馬牧場では、飼羊の取組について説明を受けた後、羊・ポニーの餌やり体験及びアクセサリ作り体験を行いました。羊やポニーに触れた参加者からは大きな歓声が上がりました。

参加者からは、「親子とも心がとても豊かになった。」「貴重な経験をさせてもらった。」と好評の声をいただきました。

当所では、引き続き、県産農林水産物の魅力と安全性についてPRを図ってまいります。



ピーマンの収穫体験



きゅうりの収穫体験



ブルーベリーの収穫体験



羊・ポニーへの餌やり体験



羊毛アクセサリ作り体験